

# 学術をゆがめる軍拡政策の由来

8月29日(月) 18時～20時

Zoom会議方式

〔話題提供〕

## ◆ 政権のための科学・技術政策

井原 聰 (東北大学名誉教授)

## ◆ 米国の対中国・軍事・経済戦の 最前線に立つ日本

坂本 雅子 (名古屋経済大学名誉教授)

## ◆ バイデンの軍拡

西川 純子 (獨協大学名誉教授)

岸田文雄内閣は「骨太の方針2022」(6月7日)で防衛費を「5年以内に抜本的に強化する」と明記し、来年度当初予算案や防衛三文書改訂案で軍拡政策を推進しようとしています。

5月に成立した国際卓越研究大学法(稼げる大学法)は経済安全保障推進法と相まって日本の学術研究体制に大きな影響を与えるものです。大学人や市民からも反対の意思表示がなされてきました。

特に経済安全保障推進法の罰則付きの守秘義務の法律は学術研究体制を監視の対象とし、論文発表、研究発表、研究交流に制約を与えかねないものになっています。

米軍と一体となって日本が軍事拡大の道を進もうとしている時、米国の状況および米中対立の「最前線」に立つ日本を正しく理解し、軍拡路線による学術研究体制のゆがみの由来を検討します。

### 参加方法

参加希望の方は、下記の[参加登録フォーム](#)にご記入ください。研究会の数日前にZoomのURLを送付します。

<https://forms.office.com/r/Hm1S1ie5yu>

後日YouTube配信します。ご都合が悪い方は、画面を消したり、仮名にして参加してください。

問い合わせ先：univforum7@gmail.com

### 参加登録フォーム

